

ロボットは「設備」から「部下」へ：中小企業を救う『時給雇いロボット』の衝撃

AI技術とRaaSモデルによる「時給雇いロボット」が中小企業のパラダイムシフトを加速

CapEx(資産) 従来モデル：高額な固定資産

OpEx(費用) RaaSモデル：柔軟な労働力(時給雇い)

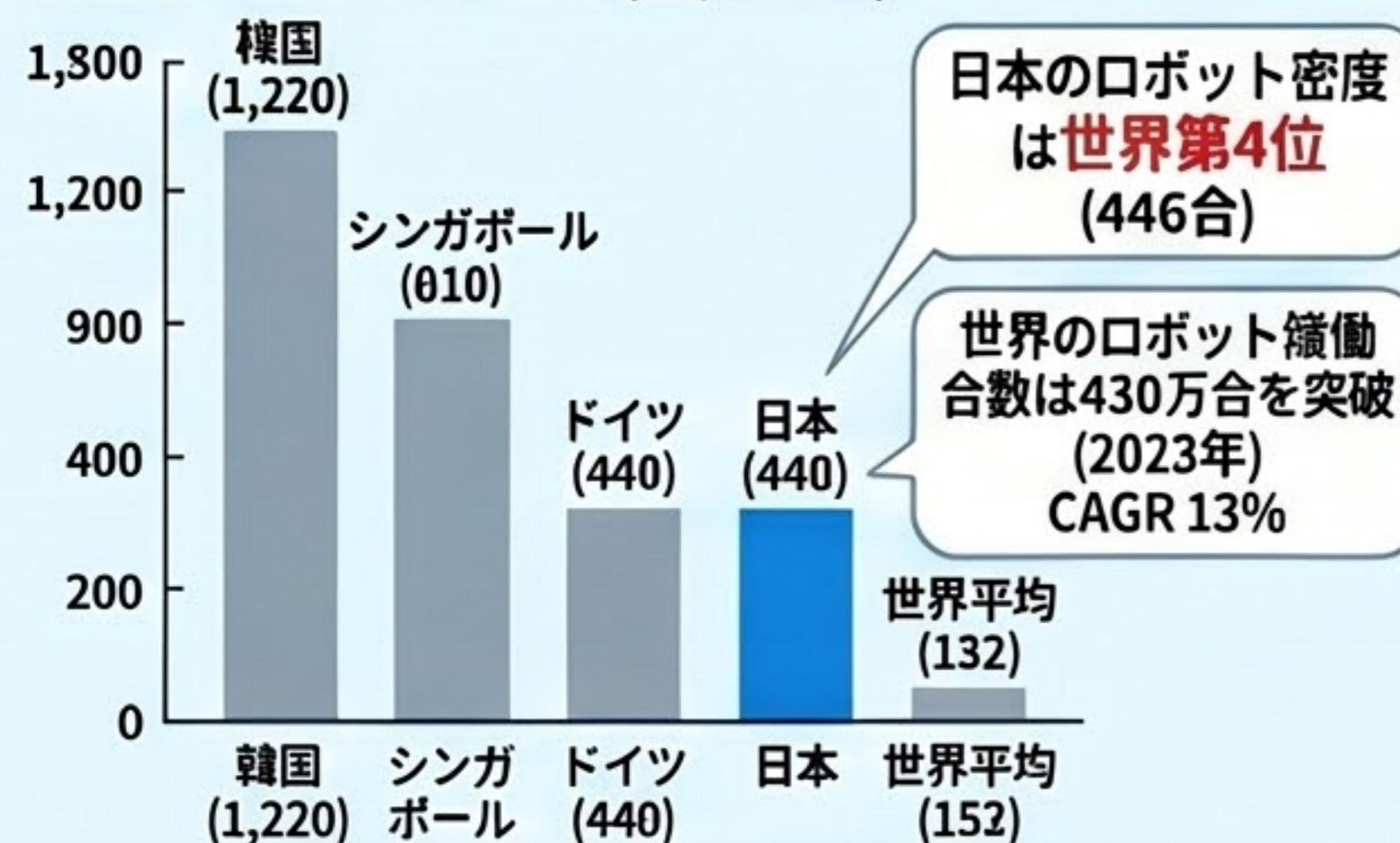


導入の難しさと費用が障壁

月々の変動費で即戦力導入

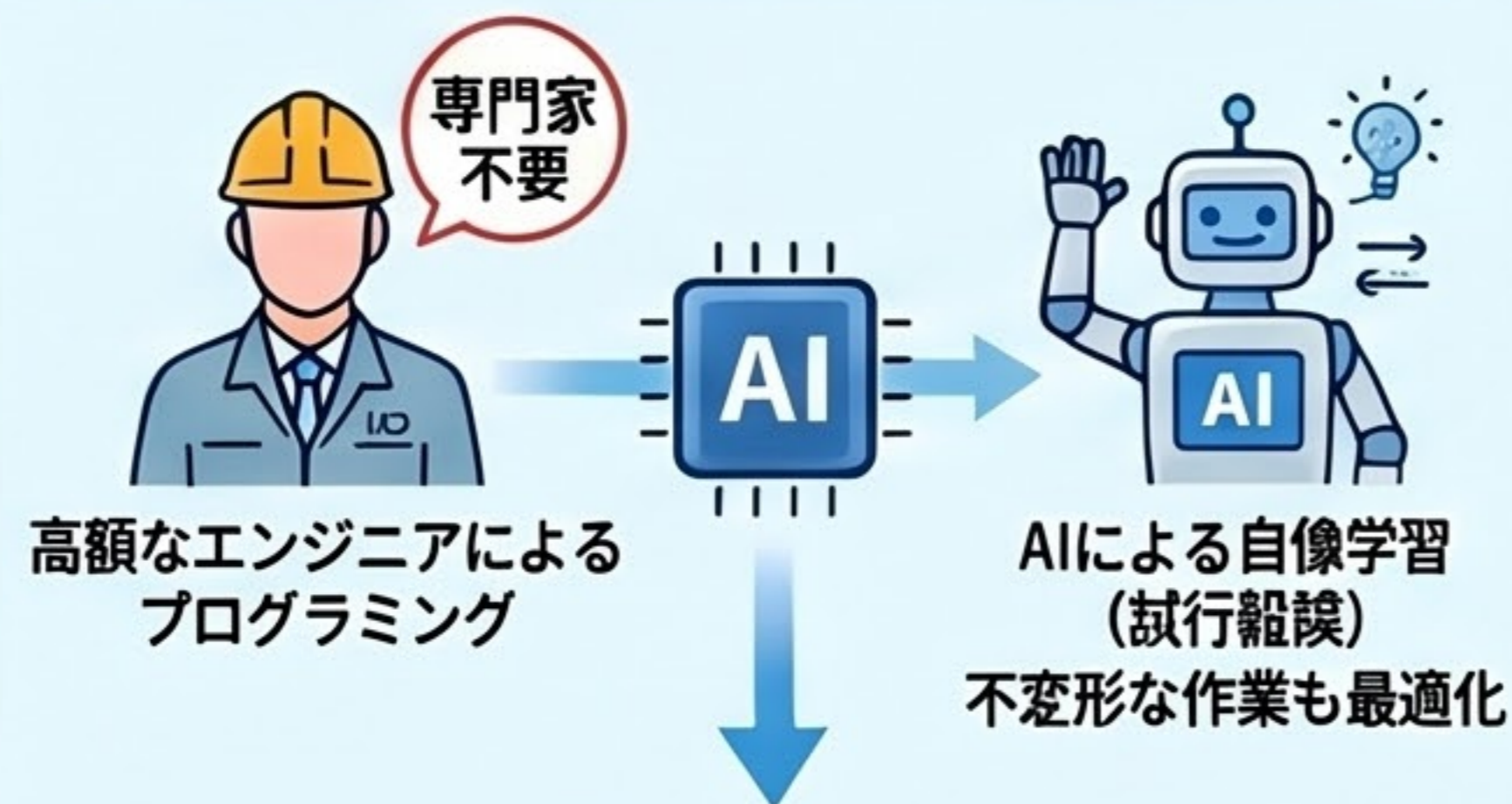
マクロ経済：世界と日本のロボット普及

主要国のロボット密度 (台/1万人)



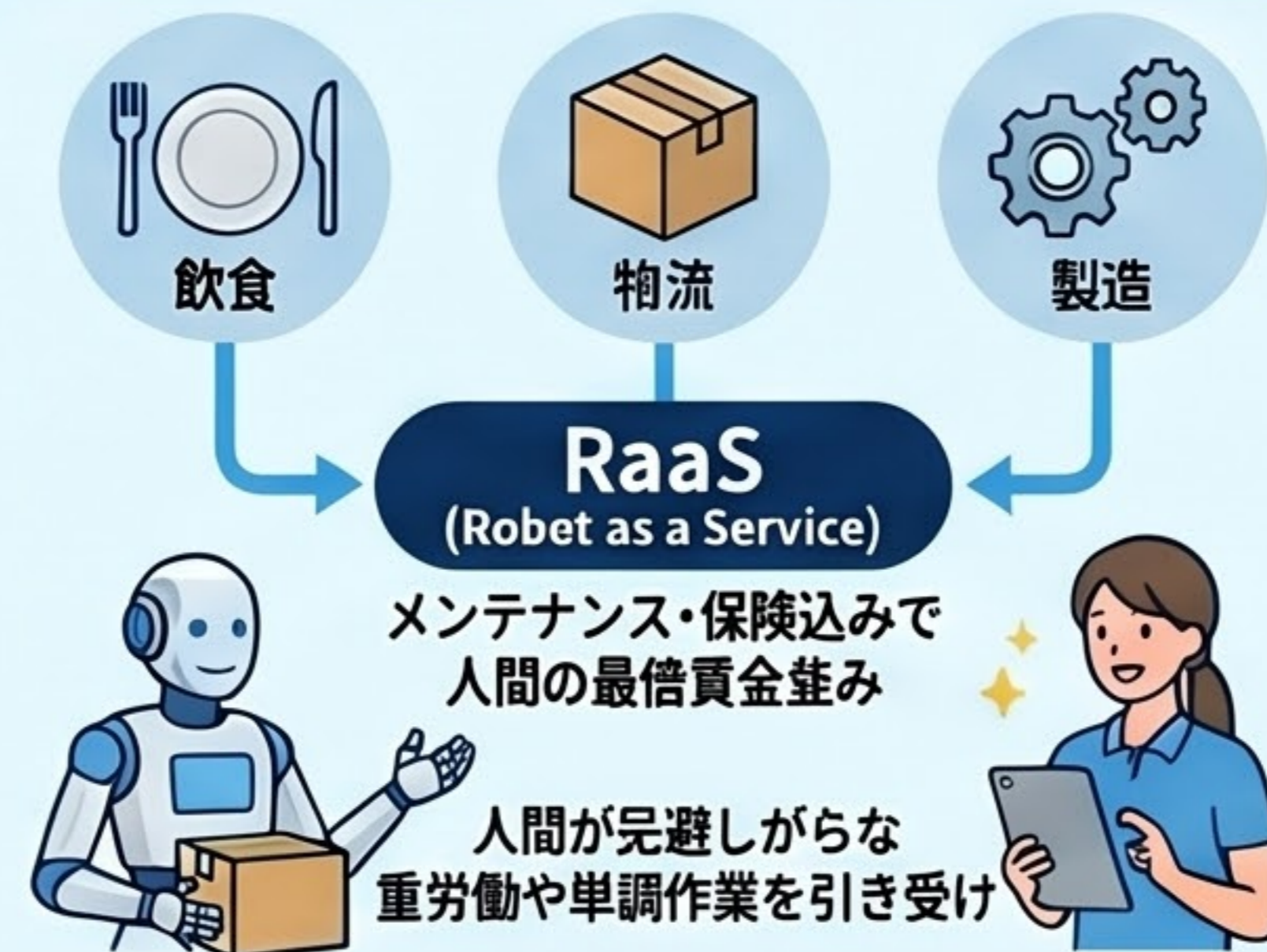
中小企業に潜む「自動化格差」を解消

技術革新：ティーチングレスによる民主化



導入コストが約半分にまで低下 (例:1億円→5,200万円)

ビジネスモデル：時給980円のRaaS革命



労働市場と2030年の未来予測

